

## 「自分を変えられる人」

人間の生き方には二つのタイプがあると、テレビで評論家の人が言っていました。ある人からものを頼まれたときにそのタイプが二つに分かれるそうです。

一つは「**できない理由**」を必死に言うタイプです。

「やったことがないのでできません。」「その日までするには時間が足りません」等々。要は「新しいことをするのに消極的な人」であまり変化できない人とも言えます。

一方、「**できる理由**」を探そうとするタイプ の人がいます。

「やったことがないからこそ、やってみよう」「時間がないと言ったが、時間内にやり遂げる方法はないのか」。「できる理由」を考え「自分に限界を作らないタイプの人」です。

皆さんはどちらでしょうか。

先日、U S J (ユニバーサル・スタジオ・ジャパン) の人事担当者の方とお話をする機会がありました。毎年 8 0 0 0 人余りの人たちが社員になりたいと応募してきます。けれども採用されるのはわずか、6 人です。この 6 人を選ぶポイントは「相手の立場になって考えられる人物か」「失敗を恐れずチャレンジする心をもっているか」だそうです。この性格を見抜くために何度もいろいろな面接をします。

そして、この二つめの性格は、これからの皆さんの日常生活の中で鍛えていくしかありません。採用テストの時に身につけられるものではありません。2 学期は「体育大会」「文化発表会」といろんな大きな行事があります。先生や友達から様々なことを頼まれることもあるかと思います。その時に「できない理由」を先に考えるのではなく、

### “「できる理由」を考える人”

になってほしいと思います。また相手の立場になって物事を進められる訓練の場としてほしいと思います。普段の生活の中でこの二つめの性格に自分を変えていってください。それが、将来の人生に成功するコツだと思います。

2 学期はそんな、訓練の場としてほしいと思います。

( 校長 太田忠男 )

